

米国エルウッド・エナジー発電所の権益取得について

～ J パワー 米国で 2 件目の I P P 事業～

J パワー（電源開発株式会社、社長：中垣喜彦^{なかがきよしひこ}）は、米国イリノイ州ウィル郡エルウッド村（Village of Elwood、シカゴ市の南西約 50km）にあるエルウッド・エナジー発電所（Elwood Energy：出力 135 万 kW ガスシンプルサイクル）を運営するエルウッド・エナジー社の権益 49.9%を取得します。

エルウッド・エナジー社は、ピープルズ社とドミニオン社が 50%ずつ出資する米国法人で、エルウッド・エナジー発電所を建設、1999 年 7 月より営業運転しています。発電電力はエクセロン社並びにコンステレーション社に販売され、主にイリノイ州に供給されています。



J パワーは、本件が（１）売電契約により一定期間安定的な収益が見込めること、（２）同発電所が電力需要地に近く、安定的に運転されていること、（３）共同事業者が優れていること等から、ピープルズ社の持つ権益 50%のうち 49.9%の権益を取得することとしました。

今後、米国での許認可手続きを経て、2007 年 2 月頃には権益を取得できる見込みです。

これにより、エルウッド・エナジー社の出資構成は J パワー 49.9%、ドミニオン社 50%、ピープルズ社 0.1%となります。

なお、発電所の運営は、ドミニオン・エルウッド・サービス社が引続き実施します。

J パワーは昨年 1 月米国での I P P 事業推進のため現地法人を設立し、調査・検討を進めており、今年 5 月には初の米国案件としてテナスカ・フロンティア発電所の権益を取得しました。本件はそれに続く 2 件目の I P P 案件となります。これにより J パワーが出資する海外 I P P 事業は、運転中 6 カ国・地域 15 件、建設中 1 件となります。

<添付資料>

1. エルウッド・エナジー発電所の概要
2. J パワーの海外 IPP プロジェクト一覧